



IMAZINE No.2



2024年11月発行 発行責任者：ジェンダー支援チーム学生ピアスタッフ



○ZINEって何だ？

皆さんこんにちは！ BHE ジェンダー支援チームの広報誌、IMAZINE（イマジン）の第2号をお届けします！

毎号ジェンダーやセクシュアリティに関する情報をお届けするこちらの広報誌、今回はまず初めに、“IMAZINE”というタイトルの由来になっている“ZINE”（ジン）というメディアについて、本当にざっくりとご紹介します。

簡単に説明すると、ジンというのは、有志によって作成される、非営利の自主制作出版物のことです。その内容は、随筆や評論、小説、イラスト、写真……とにかく色々あります。よく「ジンは“Magazine”（マガジン）の略語である」という説明がなされますが、これは誤りです。実はジンの由来となったのは、“Fanzine”（ファンジン）という言葉なのです。

この点は重要です。なぜならファンジンというのは、出版社が記事を厳選し、冊子を販売するという、マガジンの権威主義的・資本主義的な性格に対する批判から生まれたメディアだからです。そんなファンジンに由来するジンは、誰でも制作や配布が可能であるという特徴から、特に社会的・経済的に弱い立場に置かれている人々にとって、重要な表現の手段となってきました。ゆえに現在のジン・カルチャーには、フェミニズムを始めとする社会運動が大きな影響を与えています。

皆さんもぜひジンについて調べ、ご自分でもジンを作成してみてください。ジンへの道は全ての人に開かれている！

（参考文献：村上潔，2021，「ジンというメディア＝運動とフェミニズムの実践－作るだけではないその多様な可能性」，田中東子編『ガールズ・メディア・スタディーズ』，北樹出版，130-148）

○日本の女性運動においてミニコミが果たした役割－樋熊亜衣さん

女性たちの社会運動において、自主制作のメディアはどんな役割を担ってきたのでしょうか。BHEのディレクターであり、女性運動やダイバーシティ&インクルージョンが専門の、樋熊亜衣（ひぐま あい）さんにご寄稿いただきました。

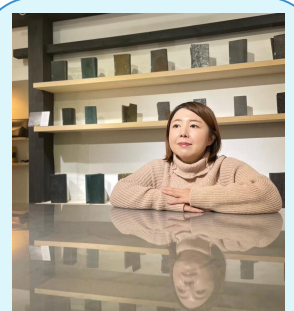
みなさんはフェミニズム運動にとって「ジン」が重要な役割を果たしていたことを知っていますか？ ジンは、1970年代頃「ミニコミ」という名称で呼ばれていました。ミニコミとは、「マス・コミュニケーション・メディア（マスコミ）」と対になる言葉で「ミニ・コミュニケーション・メディア」の略称といわれています。また、ミニコミやジンなどを総称して「オルタナティブ・メディア」と呼ぶこともあります。

それでは、ミニコミがフェミニズムにとってどのような役割を果たしたのでしょうか。時代は1970年代頃の第2波フェミニズムまで遡ります。この当時は、“戦前の婦人運動（第1波フェミニズム運動）が主張してきた男女同権は達成されはすなのに、女性にとって生きづらい社会は続いたまま”という状況でした。その生きづらさの原因が男性中心主義的な制度や考え方にあると主張し批判したのが、第2波フェミニズムの始まりでした。

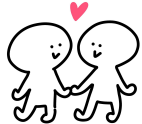
特にこのとき重視されたのが「語る」という行為です。女性とはこうあるべきだという規範が強い社会で、自らの感情や考えを女性が言葉にすることはとても難しいことでした。たとえ言葉にしても「女のくせに」「女らしくない」と批判されてしまいます。そのため、自分の考えを言葉にすること、そしてそれを他の女性たちと共有しあうことはとても大切な活動のひとつでした。この「語る」という行為は、対面でのコミュニケーションのみを指すのではなく、文章を書いたり読んだりすることもその一環として考えられています。

ここで登場してくるのがミニコミです。女性たちは個人やグループでミニコミを作成し、それまで「些末な事」「個人のこと」として切り捨てられてきたようなことについて意見を言い合いました。たとえば、仕事や家庭における差別だけではなく、タブーとされていた「性」に関する話（生理や妊娠・出産のこと、自身のセクシュアリティのことなど）も含まれていました。彼女たちの抱える生きづらさの原因がどこにあるのか、ミニコミをつうじて問題意識を高めていったのです。

こうしたミニコミの中には、「ウイメンズアクションネットワーク」や「国立女性教育会館リポジトリ」など、オンラインで公開されているものもあるので、ぜひ見てみてください。時を超えて当時の女性たちの考えに触れることができるのもミニコミの良いところです。この「IMAZINE」も徒然なるままにジェンダーやセクシュアリティについて語れる場になれば良いと思います。



樋熊亜衣さん
BHEディレクター
博士（社会学）



タイで同性婚が法制化 来年1月施行へ

NEWS!

タイでは2024年9月24日、同性婚を認める法案がワチラロンコン国王の承認を受け、来年1月に施行されることが決まりました。この法律によって、同性同士の結婚でも異性間の結婚と同等の権利が認められることになります。

同性婚が法制化されたのは、アジアでは台湾・ネパールに続き3例目、東南アジアではタイが初めてです。この決定を受けてタイのペートタン首相は、SNS上に「愛は勝つ (#LoveWins)」というハッシュタグとともに「すべての人の愛に祝福を」という投稿を行い、法制化を祝福しました。また、セクシュアルマイノリティの当事者を支援する団体は、法律施行日の1月22日に合わせて複数の同性カップルと一緒に結婚の届出を出すことを提案し、呼びかけを始めました。

(参考: NHK NEWS WEB, <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240925/k10014591811000.html>)



おすすめコンテンツ: 映画編



リリーのすべて (The Danish Girl)

1930年代に世界で初めて性別適合手術を受けたデンマーク人、リリー・エルベの体験を描いた伝記映画です。同性を愛するだけで病氣だとみなされ、「治療」や入院を強要される時代に、リリーは出生時に割り当てられた性と、自分が体験し・表出する性とが異なることに気付きます。様々な困難を抱えながらも、性別違和を理解する医師との出会いや、男性として結婚した配偶者、ゲルダ・ヴィーグナーの支えによって、彼女は徐々に「リリー」としてのアイデンティティを確立していきます。1930年代にセクシュアルマイノリティとして生きていく困難と、それを乗り越えていくリリーの勇敢な生き様、そして葛藤を抱えながらリリーを支え、愛したゲルダの姿などに注目して鑑賞してみてください。



○ 編集後記

10月27日、第50回衆院選の投開票が(つくば市では同日に市長選と市議選も)行われました。選挙権をお持ちの皆さんは、しっかり投票に行かれたでしょうか? 来年7月には参院選も予定されていますので、そちらもお忘れなく。

もちろん、選挙は市民が政治に対して意思表示を行う重要な機会です。しかし、政治参加の方法は選挙だけではありません。デモや陳情、署名など、政府や社会に対して意思表示を行う方法は色々ありますし、会話やSNSの投稿を通じて自分の問題意識を伝えることだって、立派な政治参加です。

女性やセクシュアルマイノリティの人々は、自分たちが直面する困難を共有し、様々な方法で社会に発信することで、人々の意識や社会制度を少しずつ変えてきました。最初に問題意識を周囲に伝える人がいなければ、社会を変えることは不可能です。多くの人が自分にとって無理のない方法で、政治参加を行ってくださればいいなあ、と思います。

(方法のひとつとして、ジンという選択肢もありますよ!)

カミングアウトって知ってる?

「セクシュアルマイノリティの人々が、自身の性的指向やジェンダーアイデンティティなどを伝えること」を意味する言葉です。カミングアウトをいつ、誰に対して行うか(あるいは行わないか)という選択は、1人ひとりの当事者が、自分にとって望ましい生き方や、生活上の具体的な困難などを考慮して行うものです。したがって、第3者が他者のセクシュアリティを了解なしに暴露する、アウトイングと呼ばれる行為は決して行ってはいけません。

現在第4版の「LGBTQ+に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」(Web版あり)には、カミングアウトに関する多くの記述があります。カミングアウトについて悩んでいる当事者の方や、カミングアウトを受けたけれど対応が分からないという方は、是非ご一読ください。

HANASO!

IMAZINEでは、読者の皆さんのジェンダー・セクシュアリティに関するお悩みやご質問を募集しています。なかなか人に相談しにくいお悩み・ご質問であっても、私たちが責任をもって解決方法や答えを考えます! ご応募は下のQRコードから。もちろん匿名でOKです!

- ※ お寄せいただいたお悩みやご質問には、今後のIMAZINEでお答えします。
- ※ ジェンダー支援チームに対するご要望、本誌の感想などもお待ちしております!



Information

ジェンダー支援チームは、全ての学内者が自らのジェンダー・セクシュアリティについて安全に話せる場所、セーフスペース「KiteKite(きてきて)」を運営しています。詳細は組織のWebサイトからご確認ください!

- ※ その他のジェンダー支援チームの取り組みについても、組織のWebサイト(右のQRコード)からご確認ください。
- ※ 公式Xアカウント → @UTsukuba_gst





IMAZINE No.2



Published in November 2024. Editor in Charge : Gender Support Team, Student Peer Staff

○ What is a Zine ?

Hello, everyone! We're excited to present the second issue of IMAZINE, the BHE Gender Support Team's publication that shares information on gender and sexuality. To start, let's briefly introduce what "ZINE" – the inspiration for our title "IMAZINE" – actually is.

In short, a "zine" is a non-profit, independently produced publication created by volunteers. Zines cover a variety of content, from essays, critiques, and stories to illustrations and photography. Although zines are often mistakenly thought to be shorthand for "magazine," they actually originate from the term "fanzine."

This distinction is important because fanzines were born as a critique of the authoritarian, capitalist structure of magazines, where publishers selectively curate content for sale. Unlike magazines, zines can be created and distributed by anyone, making them a valuable medium of expression for those in socially or economically marginalized positions. Feminist and other social movements have greatly influenced today's zine culture.

We encourage you to explore zines and even create your own. The world of zines is open to everyone!

(Reference: Murakami, Kiyoshi, 2021, "Zines as Media and Activism, and Feminist Practices: Its Diverse Possibilities Beyond Just Making", ed. by Tanaka Toko, Hokuju shuppan, pp. 130-148)

○ The Role of Mini-comi in Japan's Women's Movements - Contribution by Ai Higuma



What role has independently produced media played in women's social movements? We are honored to have an article contributed by BHE Director Ai Higuma, whose research focuses on women's movements, diversity, and inclusion.

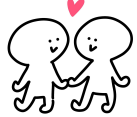
Did you know that zines were crucial to the feminist movement? In Japan, zines were known as "mini-comi" around the 1970s. This term, often abbreviated as "mini-communication media," contrasts with the mass communication media (or "masukomi") and is sometimes grouped under "alternative media." The role of mini-comi in feminism goes back to the second wave of feminism in the 1970s. During this time, society continued to impose difficult conditions on women, even though "equal rights between men and women" had supposedly been achieved by the first wave of feminism before World War II. The second wave of feminism began with critiques of the male-centered systems and ideologies that were at the root of these difficulties.

One of the most important actions during this period was the act of "speaking." In a society with strict gender norms, it was challenging for women to voice their emotions and ideas. Even when they did, they were often dismissed as "unwomanly." Thus, expressing personal thoughts and sharing them with other women became a vital activity. This act of "speaking" included not only face-to-face interactions but also writing and reading.

This is where mini-comi came into play. Women, individually or in groups, created mini-comi to share their opinions on issues often dismissed as trivial or personal. These topics included not only workplace and household discrimination but also taboo subjects such as menstruation, pregnancy, childbirth, and sexuality. Mini-comi helped to raise awareness of the sources of their struggles. Some of these mini-comi, such as those in the Women's Action Network and the National Women's Education Center Repository, are available online, allowing readers to connect with the thoughts of women from that era. We hope that IMAZINE can also become a space where people can freely discuss gender and sexuality.



Ai Higuma
BHE Director
Ph.D.(Sociology)



Thailand to Legalize Same-Sex Marriage, Effective January Next Year

On September 24, 2024, Thailand passed legislation allowing same-sex marriage, which will come into effect in January next year following approval by King Maha Vajiralongkorn. This law grants same-sex couples the same rights as opposite-sex couples, making Thailand the third region in Asia, after Taiwan and Nepal, to legalize same-sex marriage and the first in Southeast Asia. Prime Minister Paetongtarn celebrated this milestone by posting “#LoveWins” on social media and congratulating all couples. Groups supporting sexual minorities have started to encourage multiple same-sex couples to submit marriage registrations together on January 22, the day the law takes effect.

(Reference : NHK NEWS WEB, <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240925/k10014591811000.html>)



Recommended Content : Movie



The Danish Girl

This biographical film portrays the life of Danish artist Lili Elbe, one of the first people in the world to undergo gender-confirming surgery in the 1930s. In an era when loving someone of the same sex was considered an illness, Lili came to realize her gender identity, despite facing numerous difficulties. With support from a doctor who understood gender dysphoria and from her wife Gerda Wegener, she gradually established her identity as “Lili.” Watch this film to see the challenges Lili overcame as a sexual minority in the 1930s, as well as Gerda’s courage and love as she supported Lili through her journey.



○ Editor’s Note

On October 27, the 50th House of Representatives election took place (as well as mayoral and city council elections in Tsukuba City). Did you vote? Next year’s House of Councillors election is in July, so don’t forget that one!

Elections are an important opportunity for citizens to express their political opinions. However, voting isn’t the only way to participate in politics. Protests, petitions, and signing letters, as well as discussing issues or posting on social media, are also meaningful forms of political engagement.

Women and sexual minorities have shared their challenges and advocated for change through various forms of expression, gradually shaping societal awareness and institutions. Social change is only possible when people start to share their concerns with those around them. We hope more people will engage in political participation in ways that feel right for them. (And, of course, creating zines is an option too!)



Do You Know About Coming Out ?

This term refers to when sexual minorities communicate their sexual orientation or gender identity to others or the public. The choice of whether to come out, when, and to whom (or to refrain from coming out) is a personal decision based on everyone’s preferences and challenges. **Outing**, or disclosing someone else’s sexuality without their consent, is an action that should never be taken. The fourth edition of **Guidelines on LGBT+ Inclusion at University of Tsukuba** (available online) includes extensive information on coming out. If you’re someone struggling with coming out or unsure of how to respond to a friend who has come out, we encourage you to read it.

HANASO !

Do you have any questions or concerns about gender and sexuality? Or anything you’d like to ask the gender support team? Scan the QR code next to this passage and help us collect questions and concerns from readers about various aspects of gender and sexuality and the Gender Support Team, and we answer them responsibly. So, **please feel free to ask us anything you might not feel comfortable asking others!**

* The questions and concerns you submit will be published in IMAZINE.



Information

The BHE Gender Support Team is involved in planning and organizing events such as International Women’s Day in March, Tokyo Rainbow Pride in April, and Pride Month in June, as well as organizing and operating the SaferSpace **KiteKite**. We also participate in booth exhibitions at the Souhou Festival. Please feel free to join us!

* If you are interested in BHE Gender Support Team, please use the QR code on the right. This is the Official website! Please take a look !





IMAZINE No.2

2024 年 11 月, 发行方: 性别支援团队, 学生职员



○ Zine 是什么?

大家好! 我们很高兴为大家呈现 BHE 性别支持团队的宣传刊物《IMAZINE》的第二期, 分享关于性别和性倾向的信息。首先, 让我们简要介绍一下《IMAZINE》名字来源的“ZINE”究竟是什么。

简而言之, “zine” 是一种由志愿者制作的非营利自主出版物。zine 的内容涵盖多种形式, 包括随笔、评论、小说、插图和摄影等。zine 通常被误认为是 “magazine (杂志)” 的缩写, 但实际上它的来源是 “fanzine (粉丝刊物)”。这一点尤为重要, 因为 “fanzine” 是对杂志所体现的资本主义、权威性进行批判而诞生的媒体形式, 不像杂志那样由出版社筛选内容并进行销售。zine 的特别之处在于, 任何人都可以参与制作和分发, 使其成为社会经济上弱势群体表达的有力工具。女性主义及其他社会运动对现今的 zine 文化有着深远的影响。我们鼓励大家了解 zine, 甚至自己动手制作 zine。zine 的世界向所有人开放!

(参考文献 村上潔, 2021 年, 《zine 作为媒体=运动和女性主义的实践——不仅仅是创作, 它的多样可能性》, 田中東子编 《zines · 媒体 · 研究》, 北树出版, 130-148 页)



○ 日本女性运动中自主媒体的作用 — 樋熊亜衣寄稿

自媒体在女性的社会运动中扮演了什么角色? 我们很荣幸邀请到 BHE 主任、专注于女性运动及多元性与包容性的樋熊亜衣博士撰写文章。

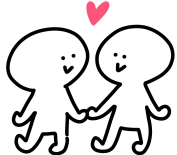
大家知道 zine 对女性主义运动的重要性吗? 在日本, zine 在 1970 年代被称为 “ミニコミ (minicomi)”。这个词通常被认为是 “mini-communication media (小型交流媒体)” 的缩写, 以区别于 “mass communication media (大众媒体)”, 有时也被统称为 “替代性媒体”。minicomi 在女性主义中的作用可以追溯到 1970 年代的第二波女性主义。当时, 即使在战前的女性运动 (第一波女性主义) 所争取的男女平等已被认为实现, 女性依然面临着生活的艰难。这种艰难的根源被认为是男性中心的制度和观念, 于是第二波女性主义从批判这些制度和观念开始。

在这一时期, “发声” 被视为重要的行动。在一个性别规范严格的社会中, 女性要表达自己的情感和想法非常困难, 即使表达出来, 也可能被批评为 “不像女性”。因此, 表达自己并与其他女性分享彼此的想法成为重要的活动。“发声” 不仅限于面对面的交流, 也包括写作和阅读。

这时, minicomi 登场了。女性们以个人或团体的形式制作 minicomi, 讨论那些被视为 “无足轻重” 或 “私人” 的话题。这些话题不仅限于工作和家庭中的歧视, 还包括月经、怀孕、分娩及性取向等被视为禁忌的内容。通过 minicomi, 她们逐渐意识到导致她们困境的原因。有些 minicomi, 如 “女性行动网络” 和 “国立女性教育会馆资料库” 等, 还可以在网上查阅, 让我们可以跨越时空了解当时女性们的思想。我们希望《IMAZINE》也能成为讨论性别和性倾向的自由空间。



樋熊亜衣
BHE 主任
社会学博士



NEWS!

泰国将于明年一月实施同性婚姻合法化

2024 年 9 月 24 日，泰国通过了承认同性婚姻的法案，得到玛哈哇集拉隆功国王的批准，并决定于明年一月实施。该法律将赋予同性伴侣与异性伴侣同等的权利，使泰国成为继台湾、尼泊尔之后亚洲第三个，东南亚第一个同性婚姻合法化的地区。泰国总理佩通坦在社交媒体上发布了“#LoveWins (爱赢了)”的标签，庆祝这项立法的通过。同时，支持性少数群体的组织也在呼吁多个同性伴侣于 1 月 22 日法律生效之日共同递交结婚登记。(参考: NHK 新闻网页)

推荐内容：电影篇



丹麦女孩 (The Danish Girl)

这部传记片描绘了丹麦艺术家莉莉·艾尔比的生活，她是 1930 年代全球首批接受性别重置手术的人之一。在当时，爱同性被视为疾病，必须接受“治疗”或住院。莉莉发现她的性别认同不同于出生时的性别，并在许多困难中坚持自己的身份。她遇到了理解性别不安的医生，以及支持她的配偶格尔达·韦格纳，逐渐确立了“莉莉”这一身份。观看本片时，特别留意莉莉在 1930 年代作为性少数群体的艰难生活，她如何克服困难，以及格尔达在支持莉莉时展现的爱与勇气。



编辑后记



10 月 27 日，第 50 届众议院选举（在筑波市同日还举行了市长和市议会选举）顺利举行。拥有投票权的朋友们是否去投票了呢？明年 7 月还将举行参议院选举，不要忘记！

当然，选举是市民表达政治意愿的重要机会。然而，参与政治的方式并不仅限于投票。抗议、请愿、签名，以及通过对话和社交媒体发声，也都是政治参与的方式。女性和性少数群体通过分享自己面临的困难并向社会发声，逐渐改变了人们的意识和社会制度。如果没有人将问题意识传达给周围，社会就不可能发生改变。我们希望更多人可以找到适合自己的方式参与政治。(当然，制作 zine 也是一种选择！)

你知道什么是出柜吗？

这是指性少数群体公开他们的性取向或性别认同的行为。选择何时、向谁出柜（或不出柜）是个人根据自己理想的生活方式和具体困难做出的决定。因此，第三方未经同意就公开他人性倾向的“暴露”行为是不应当的。筑波大学第四版《LGBTQ+ 基本政策与应对指南》(网络版可查) 中有详细的出柜说明。对于那些在出柜方面有所困扰或不知如何应对他人出柜的朋友，建议阅读此指南。

HANASO !

你是否性别和性取向有任何问题或疑虑？想要了解更多相关知识吗？或者是否有任何想要向 性别支援队提出的问题？请扫描旁边的 QR 码，帮助我们集读者性别和性取向各个方面以及性别支援队的问题和疑虑，我们将负责地回答。请随意向我们提出任何可能不意向其他人询问的问题！

※ 提交的问题和疑虑将在 IMAZINE 上公开发表。



Information

BHE 性别支援队参与策划和组织季节性活动，例如 3 月的国际妇女节、4 月的东京彩虹骄傲节和 6 月的骄傲月，以及组织和营 Safer Space KiteKite 和电影放映。我们还参加了双峰祭的展出，旨在建立 LGBTQ+ 社区和组织性别和性取向相的活动。欢迎有兴趣的人加入我们！

※ Official Web Site →→→→→





IMAZINE No.2

2024 年 11 月, 出版: 性別支援團隊學生同儕工作人員



○什麼是 Zine ?

大家好! 我們很高興為大家呈現 BHE 性別支援團隊的宣傳刊物《IMAZINE》的第二期, 分享有關性別和性傾向的資訊。首先, 讓我們簡要介紹一下《IMAZINE》名字來源的“ZINE”究竟是什麼。

簡而言之, “zine”是一種由志願者製作的非營利自主出版物。zine 的內容涵蓋多種形式, 包括隨筆、評論、小說、插圖和攝影等。zine 通常被誤認為是“magazine (雜誌)”的縮寫, 但實際上它的來源是“fanzine (粉絲刊物)”。這一點尤其重要, 因為“fanzine”是對雜誌所體現的資本主義、權威性進行批判而誕生的媒體形式, 不像雜誌那樣由出版社篩選內容並進行銷售。zine 的特點在於, 任何人都可以參與製作和發行, 使其成為社會經濟上弱勢群體表達的有力工具。女性主義及其他社會運動對現今的 zine 文化有著深遠的影響。我們鼓勵大家了解 zine, 甚至自己動手製作 zine。zine 的世界向所有人開放!

(參考文獻: 村上潔, 2021 年, 《zine 作為媒體=運動和女性主義的實踐——不僅僅是創作, 它的多樣可能性》, 田中東子編《zines · 媒體 · 研究》, 北樹出版, 130-148 頁)



○日本女性運動中自主媒體的作用——樋熊亞衣寄稿

自媒體在女性的社會運動中扮演了什麼角色? 我們很榮幸邀請到 BHE 主任、專注於女性運動及多元性與包容性的樋熊亞衣博士撰寫文章。

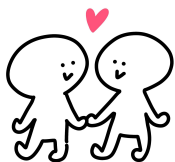
大家知道 zine 對女性主義運動的重要性嗎? 在日本, zine 在 1970 年代被稱為“ミニコミ (minicomi)”。這個詞通常被認為是“mini-communication media (小型交流媒體)”的縮寫, 以區別於“mass communication media (大眾媒體)”, 有時也被統稱為“替代性媒體”。minicomi 在女性主義中的作用可以追溯到 1970 年代的第二波女性主義。當時, 即使在戰前的女性運動 (第一波女性主義) 所爭取的男女平等已被認為實現, 女性依然面臨著生活的艱難。這種艱難的根源被認為是男性中心的制度和觀念, 於是第二波女性主義從批判這些制度和觀念開始。

在這一時期, “發聲”被視為重要的行動。在一個性別規範嚴格的社會中, 女性要表達自己的情感和想法非常困難, 即使表達出來, 也可能被批評為“不像女性”。因此, 表達自己並與其他女性分享彼此的想法成為重要的活動。“發聲”不僅限於面對面的交流, 也包括寫作和閱讀。

這時, minicomi 登場了。女性們以個人或團體的形式製作 minicomi, 討論那些被視為“無關緊要”或“私人”的話題。這些話題不僅限於工作和家庭中的歧視, 還包括月經、懷孕、生產及性取向等被視為禁忌的內容。透過 minicomi, 她們逐漸意識到導致她們困境的原因。有些 minicomi, 如“女性行動網絡”和“國立女性教育會館資料庫”等, 還可以在網上查閱, 讓我們可以跨越時空了解當時女性們的思想。我們希望《IMAZINE》也能成為討論性別和性傾向的自由空間。



樋熊亞衣
BHE 主任
社會學博士



泰國將於明年一月實施同性婚姻合法化

NEWS!

2024 年 9 月 24 日，泰國通過了承認同性婚姻的法案，得到瑪哈哇集拉隆功國王的批准，並決定於明年一月實施。該法律將賦予同性伴侶與異性伴侶同等的權利，使泰國成為繼臺灣、尼泊爾之後亞洲第三個，東南亞第一個同性婚姻合法化的地區。泰國總理佩通壇在社交媒體上發布了“#LoveWins (愛勝利)”的標籤，慶祝這項立法的通過。同時，支持性少數群體的組織也在呼籲多對同性伴侶於 1 月 22 日法律生效之日共同遞交結婚登記。(參考: NHH 新聞網頁)



推薦內容：電影篇



《丹麥女孩》(The Danish Girl)

這部傳記片描繪了丹麥藝術家莉莉·艾爾比的生平，她是 1930 年代全球首批接受性別重置手術的人之一。在當時，愛同性被視為疾病，必須接受“治療”或住院。莉莉發現她的性別認同不同於出生時的性別，並在許多困難中堅持自己的身份。她遇到了理解性別不安的醫生，以及支持她的配偶格爾達·韋格納，逐漸確立了“莉莉”這一身份。觀看本片時，特別留意莉莉在 1930 年代作為性少數群體的艱難生活，她如何克服困難，以及格爾達在支持莉莉時展現的愛與勇氣。



○ 編輯後記



10 月 27 日，第 50 屆眾議院選舉（在筑波市同日還舉行了市長和市議會選舉）順利舉行。擁有投票權的朋友們是否去投票了呢？明年 7 月還將舉行參議院選舉，不要忘記！

當然，選舉是市民表達政治意願的重要機會。然而，參與政治的方式並不僅限於投票。抗議、請願、簽名，以及通過對話和社交媒體發聲，也都是政治參與的方式。女性和性少數群體透過分享自己面臨的困難並向社會發聲，逐漸改變了人們的意識和社會制度。如果沒有人將問題意識傳達給周圍，社會就不可能發生改變。我們希望更多人可以找到適合自己的方式參與政治。（當然，製作 zine 也是一種選擇！）

你知道什麼是出櫃嗎？

這是指性少數群體公開他們的性取向或性別認同的行為。選擇何時、向誰出櫃（或不出櫃）是個人根據自己理想的生活方式和具體困難做出的決定。因此，第三方未經同意就公開他人性傾向的“揭露”行為是不應當的。筑波大學第四版《LGBTQ+基本政策與應對指南》（網絡版可查）中有詳細的出櫃說明。對於那些在出櫃方面有所困擾或不知如何應對他人出櫃的朋友，建議閱讀此指南。

HANASO !

你是否對性別和性取向有任何問題或疑慮？想要了解更多相知識嗎？或者是否有任何想要向性別支援團隊提出的問題？請掃描旁的 QR 碼，幫助我們集者對性別和性取向各個方面以及性別支援團隊的問題和疑慮，我們將負責地回答。請意向我們提出任何可能不願意向其他人詢問的問題！

※ 提交的問題和疑慮將在 IMAZINE 上公開表。



Information

BHE 性別支援團隊參與策劃和組織季節性活動，例如 3 月的國際婦女節、4 月的東京彩虹驕傲節和 6 月的驕傲月，以及組織和運 Safer Space KiteKite 和電影放映。我們還參加了雙峰祭的出展，旨在建立 LGBTQ+ 社群和組織性別和性取向相的活動。迎有興趣的人加入我們！

※ Official Web Site →→→→→

